

小児科学

[講義] 第2学年～第3学年 前期 選択 2単位

《担当者名》柳生 一自 (心理科学部) 林 麻子 (予防医療科学センター)

【概要】

小児科学は幅広く周産期、出生から思春期に至るまでを対象とする医学である。小児は成人とは異なり、さまざまな体の成長に伴う変化があり、疾患も小児特有のものが多い。感染症などの外部からの侵襲、遺伝的要因などの病因や病態生理を理解し、子どもに関わる現場で活かせる知識を身につけることが求められる。

【学修目標】

医療従事者として、小児の患者に接したとき、その疾患に適切な対応ができるようになる、次のような医療知識を身につける。

出生から、新生児期、乳児期、幼児期、学童期に運動、知的発達のマイルストーンが説明できる。

小児の栄養・バイタルサインが説明できる。

周産期・新生児期特有の疾患が列挙できる。その疾患の将来の影響が説明できる。

先天奇形・染色体異常が説明できる。

小児期の感染症の種類・症状・治療が説明できる。

小児期の免疫異常、代謝異常が説明できる。

小児期の内分泌疾患、思春期に移行する際の異常が説明できる。

小児独特の腎臓疾患が説明できる。

小児の神経疾患、筋疾患が説明できる。

自閉スペクトラム症・注意欠如多動症・知的能力障害・限局性学習症が説明できる。

児童虐待の特徴や対応が説明できる。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー（学位授与方針）との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

柳生 一自 (医師、公認心理師)、林 麻子 (医師)

【実務経験を活かした教育内容】

小児科医師としての実務経験を活かした講義をすることで、医療の現場で役立つ知識、技術、態度の習得に寄与する教育を実践している。